

## 第3章

# 都市づくりの基本的な考え方(理念)と 目指す都市の姿



本章では、上位計画やこれまでの取組、新潟市を取り巻く状況（現状と課題）及び都市づくりの視点などを踏まえ、市全域を対象として、長期的な展望を見据えた「都市づくりの基本的な考え方（理念）」及び「目指す都市の姿」を示します。また、都市計画基本方針が目指す方向性を視覚的に分かりやすく共有するため、「都市の将来イメージ」を示します。

都市づくりの基本的な考え方（理念）について、上位計画やこれまでの取組、新潟市を取り巻く状況及び都市づくりの視点などを踏まえ、都市全体の観点（全市レベル）から『持続的に発展する都市』、市民の身近な暮らしを考える地域の観点（地域レベル）から『誰もが暮らしやすい個性ある地域』、の2つの理念を掲げます。

**全市レベル：持続的に発展する都市**

**地域レベル：誰もが暮らしやすい個性ある地域**

### ● 持続的に発展する都市

新潟市が持続的に発展していくためには、市民が誇りと愛着を持ち続けることができる、新潟市ならではの個性の充実を図ることと、都市経営の視点を持ちながら、本州日本海側唯一の政令指定都市として、都市の活力の維持・向上と、自然環境との調和・共生を保ち続けることが必要です。

安心・安全の土台をより強固なものとし、歴史や文化、広大で美しい田園、豊かな自然などの新潟市の財産を守り育むとともに、国内外と結ばれる都市基盤などを活かし、都市の活力と魅力を高めることで、日本海側の拠点都市として持続的に発展する都市づくりを進めます。

### ● 誰もが暮らしやすい個性ある地域

地域が市民生活の基盤として成り立つためには、地域の中で暮らしに必要なサービス機能が集積・充実していることと、地域の歴史や文化、産業など、それぞれの地域の個性が住民の暮らしと結び付きながら発揮されていくことが必要です。

それぞれの地域の個性や強みを守り・活かしながら、地域の拠点や日常生活の拠点の機能の維持・充実、地域間の連携・交流の促進を図るとともに、身近な住環境の安心・安全や快適性を高めていくことで、誰もが暮らしやすい個性ある地域づくりを進めます。

## 3-2 目指す都市の姿

都市づくりの基本的な考え方（理念）のもと、新潟市が目指す都市の姿を『市街地と田園・自然の多様な魅力が人をつなぐ多核連携都市 新潟』とします。

### 市街地と田園・自然の多様な魅力が 人をつなぐ多核連携都市 新潟

新潟市は国際拠点港湾や拠点空港などの国内外と結ばれる都市基盤を有する日本海側の拠点都市でありながら、広大で美しい田園や海・河川・里山・里潟などの豊かな自然に包まれ、市街地と田園・自然が調和・共生していることが大きな特徴です。また、歴史や文化、産業など、市民の力で守り育まれてきた個性と魅力があふれる地域の集合体であり、多様な暮らし方・働き方ができることも大きな強みの一つとなっています。

国内外と結ばれる都市基盤を有する拠点性と、これまで守り育んできた田園・自然や地域が持つ多様な魅力や強みを活かし、ビジネスや交流、余暇や活動の場として、また、住み続けたいまちとして人を惹きつけ、人と人、人と地域がつながり合うことで、様々な環境変化の中にあっても持続可能で暮らしやすい新潟市の実現を目指します。

目指す都市の姿の構造（多核連携都市）の実現に向けた考え方を次の3つの要素で示します。

- ① 市街地と田園・自然の共生・共鳴
- ② 都市・地域の拠点の機能強化
- ③ 拠点間の連携強化

#### ① 市街地と田園・自然の共生・共鳴

市街地については公共交通と連動した土地利用や低未利用地の活用を促るとともに、雇用の場の創出や交流人口の拡大など、市全体や区の持続的な発展につながる真に必要な開発を除き、市街地の拡大をこれまで以上に抑制することで、その規模を適切に維持します。

また、新潟市の特徴である広大な田園や海・河川・里山・里潟などの自然環境の保全・賢明な利用に努め、それらを支える田園集落の維持活性化を図ることにより、田園・自然を市民共通の財産として守り育みます。

そして、市街地と田園・自然が調和し、その恵みや機能を楽しむ関係を深めることで、お互いの魅力や強みを高め合う、共生・共鳴する関係を将来にわたって維持することを目指します。

## ② 都市・地域の拠点の機能強化

新潟駅周辺地区・万代地区・万代島地区・古町地区を包含した「都心」について、市全体や広域都市圏をけん引する中心核として、商業・業務・医療・福祉・文化・教育などの多様な高次都市機能が集積し、緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力ある拠点とすることを目指します。

同時に市民生活の要として、商業・業務・行政などの生活利便サービス機能が集積した、区を中心とする「地域拠点」と、日常生活を支える地域コミュニティの中心となる「生活拠点」の形成に向け、それぞれの地域の特色を活かしながらその機能や生活利便性の維持・充実を図ります。

また、産業、業務、教育、人流や物流などに特化し、その機能が高度に集積した拠点である「機能別拠点」の機能強化を図ります。

## ③ 拠点間の連携強化

各地域の拠点間を道路や公共交通などでつなぎ、都心を中心とした放射・環状型の連携軸を強化することで、ビジネスや生活利便性、文化・教育といった8区や地域が持つ様々な機能の連携・交流を図ります。

また、港湾、空港などの広域交通結節拠点やそのネットワークの強化を図ることで国内外の地域とのつながりを強化します。

誰もが移動や交流をしやすい環境を整えることで、市民生活の利便性を向上させ、質の高い暮らしを可能にするとともに、多様な拠点が連携することで都市全体として持続的に発展する都市の実現を目指します。

拠点とネットワークによる都市構造のイメージ図を示します。

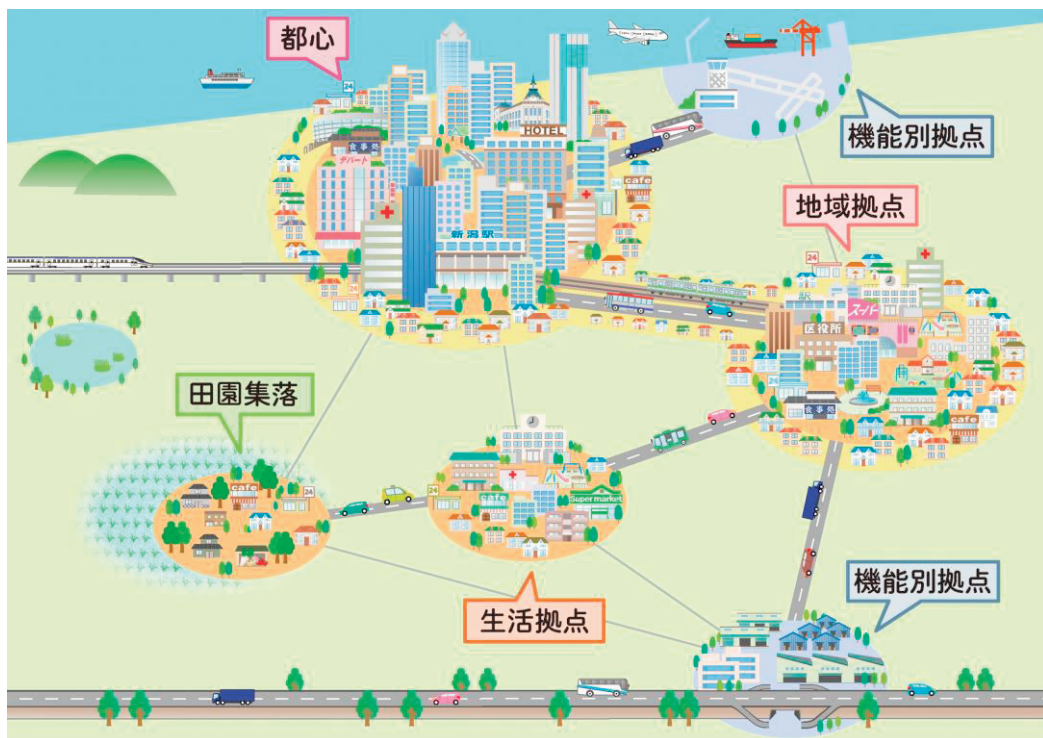


図 拠点とネットワークによる都市構造のイメージ図

都市・地域の拠点がそれぞれの利用圏域や地域特性などによって異なる機能や役割を持ち、それらがネットワークでつながり、互いに連携することで、機能共有や相互補完が図られることが重要です。新潟市においても市全体をけん引する都心を中心に、8区における地域拠点と生活拠点、田園集落がネットワークでつながり、互いに支え合う都市構造の重ね合わせによる都市を目指します。

都市構造の重ね合わせのイメージを以下に示します。

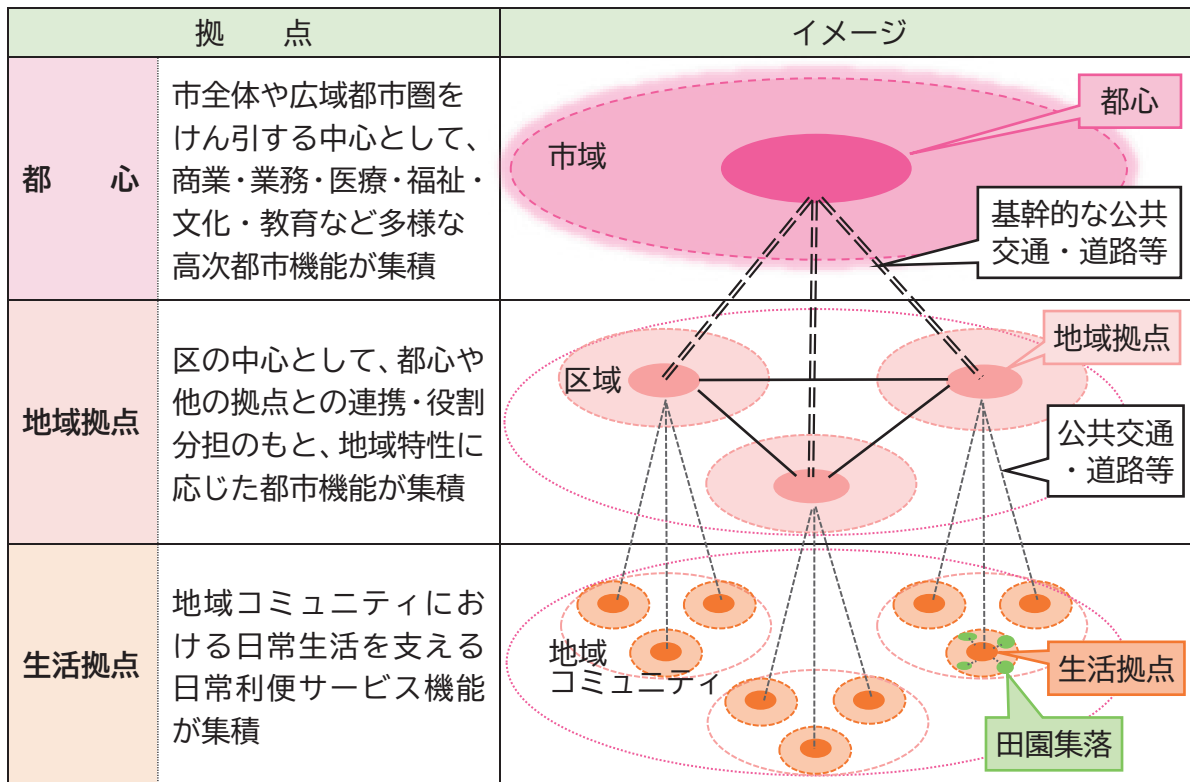


図 都市構造の重ね合わせのイメージ

上記の重ね合わせで形づくられる新潟市の都市構造の全体イメージ（概念図）を示します。

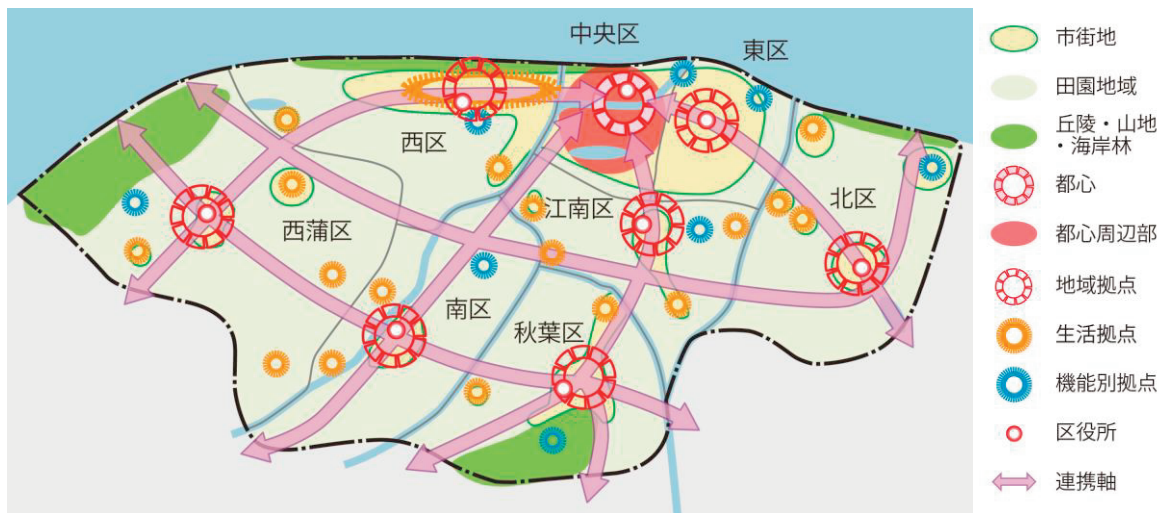
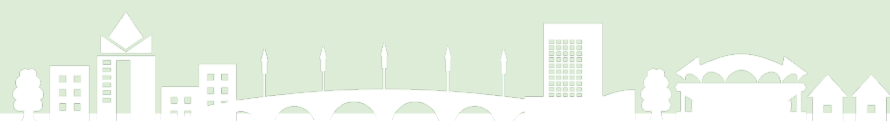


図 都市構造概念図

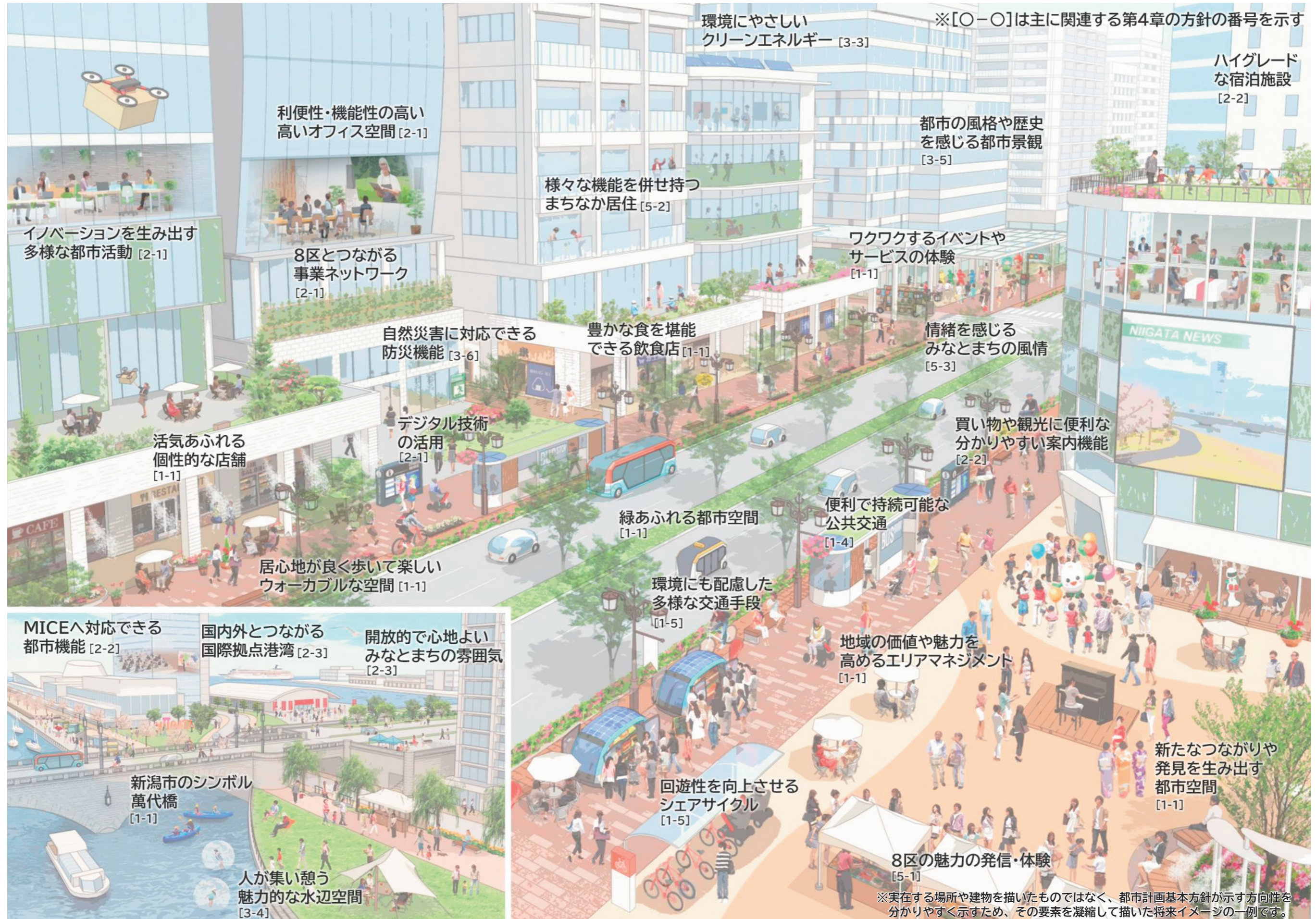


### 3-3 都市の将来イメージ

目指す都市の姿『市街地と田園・自然の多様な魅力が人をつなぐ多核連携都市 新潟』を実現することによる、都市活動や暮らしのイメージを視覚的に分かりやすく共有することで、新潟市で暮らし・活動する市民や事業者の皆さまと一緒に都市の将来像を考え、実現を目指していく一助とするため、「都心」「拠点」「田園集落」の将来イメージを示します。

(1) 都心の将来イメージ

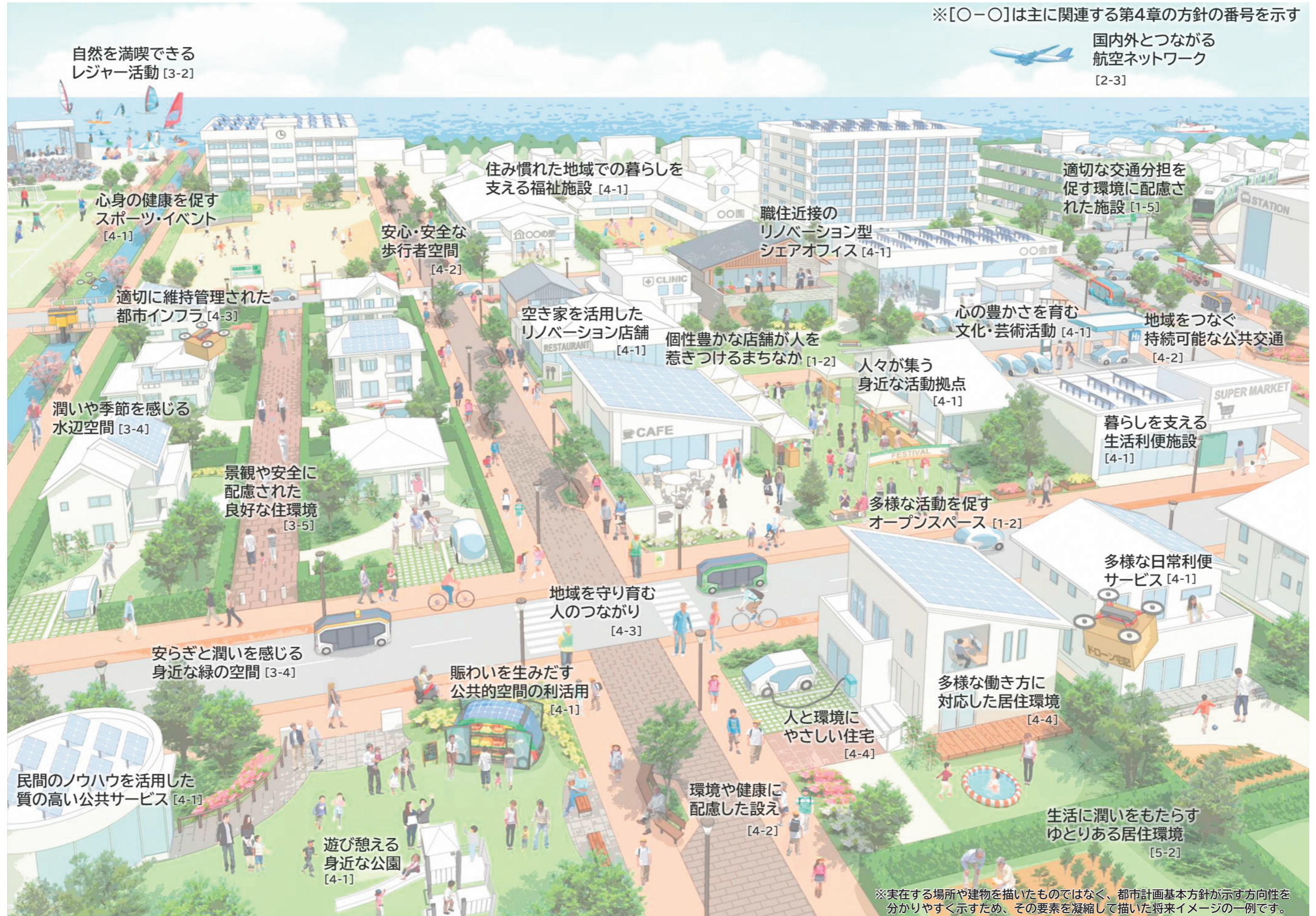
全国や世界とつながり、賑わいと魅力があふれる都心で、たくさんの人・モノ・情報が行き交い、誰もが生き生きと活動しています。



(2) 拠点（地域拠点、生活拠点）の将来イメージ

公共交通などで各地とつながり、生活利便サービスが充実した区や地域の拠点で、誰もが安心してライフスタイルに合った暮らしを送っています。

※[○-○]は主に関連する第4章の方針の番号を示す



国内外とつながる  
航空ネットワーク  
[2-3]

自然を満喫できる  
レジャー活動 [3-2]

心身の健康を促す  
スポーツ・イベント  
[4-1]

適切に維持管理された  
都市インフラ [4-3]

潤いや季節を感じる  
水辺空間 [3-4]

景観や安全に  
配慮された  
良好な住環境  
[3-5]

安らぎと潤いを感じる  
身近な緑の空間 [3-4]

民間のノウハウを活用した  
質の高い公共サービス [4-1]

遊び憩える  
身近な公園  
[4-1]

住み慣れた地域での暮らしを  
支える福祉施設 [4-1]

安心・安全な  
歩行者空間  
[4-2]

空き家を活用した  
リノベーション店舗  
[4-1]

個性豊かな店舗が人を  
惹きつけるまちなか [1-2]

地域を守り育む  
人のつながり  
[4-3]

賑わいを生み出す  
公共空間の利活用  
[4-1]

環境や健康に  
配慮した設え  
[4-2]

職住近接の  
リノベーション型  
シェアオフィス [4-1]

適切な交通分担を  
促す環境に配慮さ  
れた施設 [1-5]

心の豊かさを育む  
文化・芸術活動 [4-1]

地域をつなぐ  
持続可能な公共交通  
[4-2]

人々が集う  
身近な活動拠点  
[4-1]

多様な活動を促す  
オープンスペース [1-2]

暮らしを支える  
生活利便施設  
[4-1]

多様な日常利便  
サービス [4-1]

多様な働き方に  
対応した居住環境  
[4-4]

人と環境に  
やさしい住宅  
[4-4]

生活に潤いをもたらす  
ゆとりある居住環境  
[5-2]

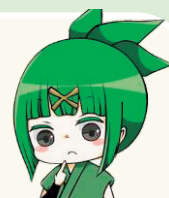
※実在する場所や建物を描いたものではなく、都市計画基本方針が示す方向性を  
分かりやすく示すため、その要素を凝縮して描いた将来イメージの一例です。



(3) 田園集落の将来イメージ

地域固有の歴史や伝統が息づき、豊かな田園・自然に包まれた田園集落で、都市や地域の人々とつながりながら、心豊かに暮らしています。



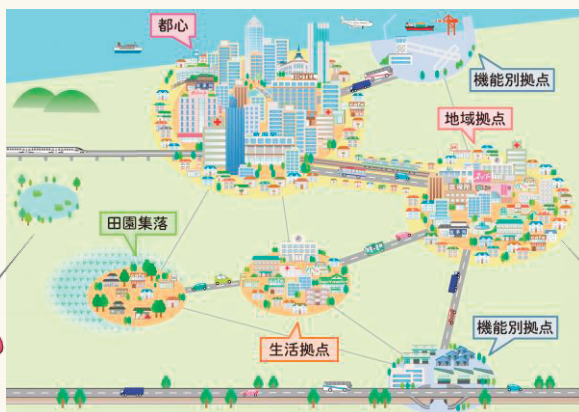


## 小町&五郎の都市計画コラム⑥

### コンパクト・プラス・ネットワークってなんだろう？

コンパクト	市街地の拡大を抑制し、都心や各区の拠点に商業・医療・福祉などの生活サービス機能を集約・誘導
+	
ネットワーク	まちづくりと連携した公共交通・道路等のネットワークを構築

それぞれの拠点が道路や公共交通でつながっているね。



都心や拠点にいろいろなお店や機能が集まっているね。



### コンパクト・プラス・ネットワークの効果

このまま何もしないと・・・

薄く広がった市街地のまま人口減少・少子高齢化が進むと、商業・医療・福祉などの生活サービスや公共交通の維持が難しくなり、まちの賑わいがなくなったり、道路や下水道などのインフラ設備の維持管理や災害対応が困難になるなど、都市の持続性が失われてしまう恐れがあります。

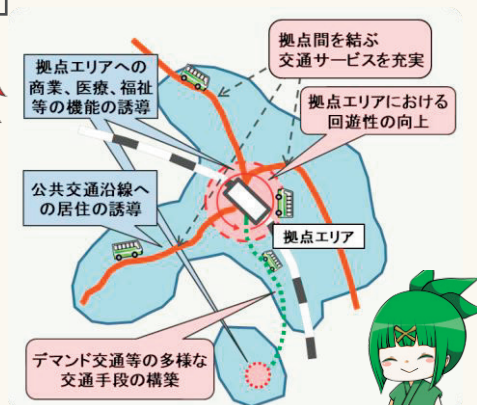
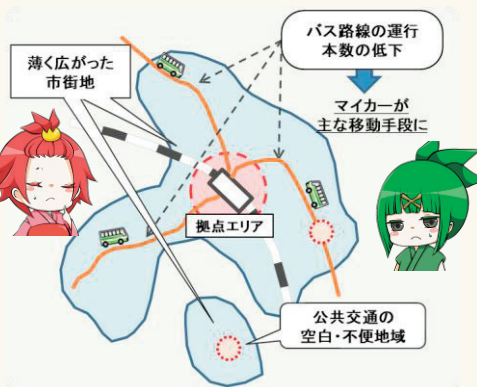


コンパクト・プラス・ネットワークに取り組むことで・・・

○コンパクト・プラス・ネットワークによる効果(例)

- ・ 生活利便性の維持・向上
- ・ 地域経済の活性化
- ・ 行政コストの削減
- ・ 地球環境負荷の低減
- ・ 居住地の安全性強化

などの効果が期待され、人口減少下においても都市の持続的な発展と暮らしやすさの維持につながります。



## 新潟市の魅力あふれる応募写真の掲載について

本基本方針の策定にあたって、市民をはじめとする皆さまから新潟市の魅力あふれる写真を募集しました。

次ページからの『第4章 都市・地域づくりの方針』には、皆さまからご応募いただいた新潟市の魅力がたくさん詰まった素敵な写真を掲載しています。

美しい風景や賑わうイベント、お気に入りの場所や思い出のワンシーンなど、わたしたちのまち・新潟市の様々な魅力の再発見や新たな気付きのきっかけにしていただければ幸いです。

※皆さまからの応募写真は、「応募されたタイトル(応募写真)」という名称で掲載しています。

また、P172 に応募者・応募写真の一覧を掲載しています。

